



□□□□□□

# みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ  
〒028-1392 (住所不要) 山田  
町役場総務課情報係(☎82-3111内線417)へどうぞ。

## 正月にして至福

十二月三十一日、平成十七年最後の日。

この年を無事平穩に過ごした事に、敬神敬愛の念抱く、神仏に感謝の意を込め、そして新しい年への夢と望みを託して、古来よりお正月を祝して誰もが実感して居る、日本の美しい文化「年縄」。その年縄を廻している中で、向地の俺んこの倉庫のところで美しい小鳥を発見。

毎日のように見ている背黒「セキレイ」に姿恰好はそっくり、だが色合いが全然違う。よって直感的に「黄セキレイ」と分かった。

今まで、本とかテレビなんかで見てはいるが、地元大浦で見ることが無かったのが、大浦では生息して居ないものとおった。いつでもどこでも、機会があったら身近におるといふ小鳥ゆえ、見たいものとおった。ただけに、偶然にも世紀の大発見！

正月にして至福の一刻である。  
山崎 卓三(大浦・?)

## 三六五分の一日 (二月一日)

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。  
萬寿。

前年・平成二十五年で投稿をやめようと思っていましたので、気持ちの整理のつかないまま、急きよ書きましたので悪しからず。目を通して足りない部分は、ご判読頂ければありがたいです。  
三六五分の一日目は、つまり一月一日のことです。年の瀬に煤掃きをし、神棚を清め三階松を門松に迎え、年縄をない、しめ飾りをつけ、一年の福を呼び疾病をはらうのが、日本古来の行事でしょう。そしてNHKの

紅白歌合戦など、年末のテレビを見ながら「オトソ」を頂き、美酒にはろ酔い気分を除夜の鐘を合図に、元朝参りに出かけ、神社、仏閣をまわり、一年の家内安全と交通安全などを祈願し、御来光を拝むのも日本特有の習わしではないでしょうか。更には、正月三が日(一日、三日、五日)には餅を食べ、秋の就労で疲れた体を補うため、日本人の食文化の知恵でしょう。

この様に、守り継がれて来たものでも、どこか内容は少しずつ変っていても、原点には変わりないものと思われまふ。  
これからも、日本古来の文化として、子から孫へと受け継ぎ、ことしこそ復旧・復興を願いたいものです。

西館 隆(船越・80)

## やまだ文芸広場

酒

一杯、人、酒をのみ  
二杯、酒、酒をのみ  
三杯、酒、人を飲む  
牧水引用の

酒はしずかに飲むべかりけれ  
大晦日しみじみと飲む寒の酒  
まっすぐ喉を落ちてゆきたり

内館 洋一(飯岡・?)

いちにちを  
元気で生きた  
それだけヨ

ひたむきに  
汗を流して  
今日を生きた

芳賀 誠一(豊間根・72)

猫達が車置場に来てもどる  
暗き面かげ我が胸にしむ

昆 ユリ(織笠・80)

浜の男

一、秋風肌にしみる頃  
浜の男の腕が鳴る

今日はアワビの解禁日  
夜明けと共に竿させば  
大判小判の山ができ  
女房の笑顔が目につかぶ

二、イカ釣り船は今日も行く

漁場に付けば日も落ちて  
光り輝く集魚灯  
忽ちよせるイカの群れ  
今朝も大漁の日が昇る  
嫁ぐ娘が目につかぶ

三、北風吹けばサケの群れ

沖のカモメも呼んでいる  
定置の網に渦が巻く  
船に金銀サケの山  
今年も大漁の年の暮れ  
家族笑顔で春を待つ

岡市 健吾(飯岡)

復幸馬

今年は、馬年...復幸馬が、走るよ。  
山田の幸せ願って走り続けるよ。  
山田の町民のみなさん、  
ご健康と幸せのよい一年で、  
ありますように。

佐藤 啓子(船越・?)

## イラストコーナー



キノコ中毒 (織笠・14)



ひじきlur (船越・12)



イラストどんどん送ってください♪